

責任投資の  
入門ガイド

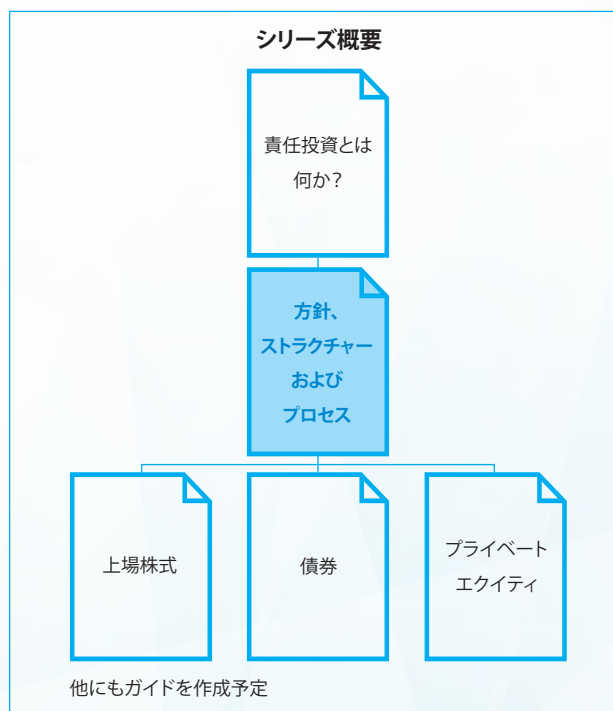
# 方針、ストラクチャー およびプロセス

## 概要

- 本入門ガイドは、投資家が、責任投資に関する方針および関係するプロセスをどのように策定・実行できるかについて簡単に要約したものです。
- 本ガイドは、アセット・オーナーと運用会社の両方に向けて作成されており、投資方針をはじめとして、責任投資を組織の社内体制やプロセスにどのように組み込むべきかについて記載しています。
- 本文中に参考文献が記載されています。本ガイドの内容の詳細や、責任投資一般については、[別途お問い合わせください](#)。

責任投資は、リスク管理を改善しつつポートフォリオのリターンを高めること、また、投資戦略に投資家や受益者の価値観を反映することを目指します。

上場株式、債券、プライベートエクイティに関するガイドは、何に投資をするかの判断に ESG 要因をどのように組み込むかや、投資家が所有者や債権者として果たす役割について記載しています。



本ガイドは、責任投資を組織の社内体制やプロセスに組み込む、以下のステップについて説明します。

方針	ターゲット	トレーニング	ESG チームおよび委員会	資産運用 コンサルティング	モニタリングおよび リポーティング	レビュー
方針およびその主な構成要素の目的設定	方針やコミットメントを具体的な目標に設定	スキルのギャップを認識し、最新の動向を把握	独立した ESG および投資チーム対統合されたチーム	外部の支援をどのように方針に適合させるか	目標に対する進捗のモニタリング、またその情報をステークホルダーへ報告	成功および失敗事例の評価

## 方針

責任投資は、ハイ・レベルの対外的な声明、商慣行の規範、独立した責任投資方針、または、責任投資の検討すべき事項を組織の主要な投資方針に組み込むなど、様々な方法で投資方針に組み込むことができます。

統合された投資方針	独立した責任投資方針
投資家は、すべての長期的要因をカバーするコアとなる投資方針を策定することで、責任投資の判断を主要な投資方針と適合させることができます。	すべての投資家が、その責任投資の目的をコアとなる投資方針に組み込む準備ができていない状況ではありません。責任投資方針を策定することから始めるのは、一つの良い方法です。

方針には、下記を含む多くの目的があります。

- 内外のステークホルダーと ESG 課題についての組織の立場について議論するための出発点となること
- 投資家はその受託者責任をどのように解釈しているかを受益者や顧客に説明すること
- 外部の資産運用者が ESG 課題をどのように扱うべきかについて指導すること
- 規制当局、顧客、その他のステークホルダーに組織の責任投資アプローチを示すこと

### 方針の策定

方針を策定するのに画一的なアプローチはありません。方針は組織の固有の属性、目標、目的を反映し、一般的または型通りの言い回しを避けたものでなければなりません。ただし、ほとんどの方針には、以下の要素が含まれています。

- **目的**：方針が策定された理由、および組織が責任投資をどのように定義するか
- **範囲**：方針がすべての運用資産に適用されるか、それとも一部の地域または資産クラスにのみ適用されるか
- **法的および規制上の要因**：組織を導く法的および規制上の要件または受託者責任
- **責任**：方針コミットメントの実現に責任を負う個人

- **実行**：組織がどのようにコミットメントを果たし、進捗をモニタリングするか
- **エンゲージメント**：組織がどのように投資先企業に ESG リスク管理の改善や、持続可能な商慣行を開発することを促すか
- **リポーティング**：組織はどのように進捗について報告する予定か
- **レビュー**：方針は、いつ、どのようにレビューされるか

責任投資の方針を策定し、経営陣レベルのコミットメントを明示し、内外のスタッフにそれを実行させることは、PRI 署名機関であるための**最低履行要件 (Minimum Requirement)**の一つです。

方針において定められているコミットメントを実行するには、投資家は組織全体に及ぶ適切なシステムをもつことを求められます。

### PRI リソース：

[Asset owner strategy guide: how to craft an investment strategy](#)



統合された方針：

[Investment policy: process and practice – a guide for asset owners](#)



独立した方針：

[Writing a responsible investment policy – guidance for asset owners](#)



[Aligning values: why corporate pension plans should mirror their sponsor's values](#)



[PRI database of policies, available through the Data Portal](#)



## ターゲット

方針のコミットメントは、具体的な定量的または定性的目標によって、また場合によっては期限を設定することで、それらは、組織の変更またはポートフォリオへの影響に分類することができます。通常カバーされる分野としては、以下が挙げられます。

- スタッフのトレーニング
- 投資先企業へのエンゲージメントの結果
- ポートフォリオのカーボン・フットプリント削減

## トレーニング

責任投資に関するトレーニングを実施することにより、組織内での方針に関する認識を高め、定められた方針のコミットメントを果たすためにスタッフに必要な情報やツールを提供することができます。オンライン・プラットフォーム上で受講可能な PRI アカデミー (PRI Academy) は、個人向けと組織向けに、初めての RI (責任投資) (Getting Started in RI)、RI の基礎 (Foundations in RI)、RI 分析—中級 (Advanced RI Analysis)、トラスティー向け RI (RI for Trustees) などのコースを提供しています。

### PRI リソース：

PRI Academy



## ESG チームおよび委員会

どのように企業が ESG スタッフを組織に組み入れるかは、組織のリソース、ビジネスモデル、顧客ベース、責任投資に関する既存の専門知識、チーム構成など、様々な要因によります。一般的な 2 つの方法は、独立した ESG チームを持つこと、または ESG の知識を投資チームに組み込むこと、またはその 2 つの組み合わせです。

### 統合された責任投資チーム対独立した ESG チーム

#### 統合された責任投資チーム

ポートフォリオ・マネージャーと投資アナリストが ESG 課題を分析し、その見解を全体の投資分析および決定に組み込み、またエンゲージメント活動を担当します。このアプローチは、外部のデータ、リサーチ、分析などをより活用します。

#### 独立した ESG チーム

独立した ESG チームが ESG 分析とエンゲージメント活動を行い、投資チームがそれを全体の投資判断に組み込みます。このアプローチは、よりカスタマイズされたリサーチや分析を伴う傾向があります。

独立した ESG と投資チームは緊密に協力し、定期的なミーティングを持つなど、積極的なコミュニケーションを取ることが求められます。

運用会社においては、ESG の投資や事業上の判断への組み込みを監督する ESG 委員会は、投資やリサーチ、リーダーシップ、リスク管理の専門知識をもつ内部または外部の専門家や、顧客担当マネージャーを含む場合があります。それにより、方針を実行するにあたってすべての組織的視点が考慮されます。

## 投資コンサルタント

アセット・オーナーは、投資コンサルタントから受けるサービスを、それが特定の業務についてか、フルサービスをカバーするかを問わず、組織で定めた責任投資の目的、戦略、方針に合致したものとする必要があります。

これは、下記の問題についての評価を伴います。

- 原則の整合性：投資コンサルタントの ESG 関連の原則はアセット・オーナーの原則と整合するか？
- 経営者レベルの関与：投資コンサルタントのマネジメント・チームや全体としての事業は、ESG 投資サービスや責任投資にコミットしているか？
- 能力：投資コンサルタントは、アセット・オーナーの ESG 関連原則の実現を支援するために必要とするシステム、リソース、経験を有しているか？

### PRI リソース：

Investment consultants and ESG: an asset owner guide

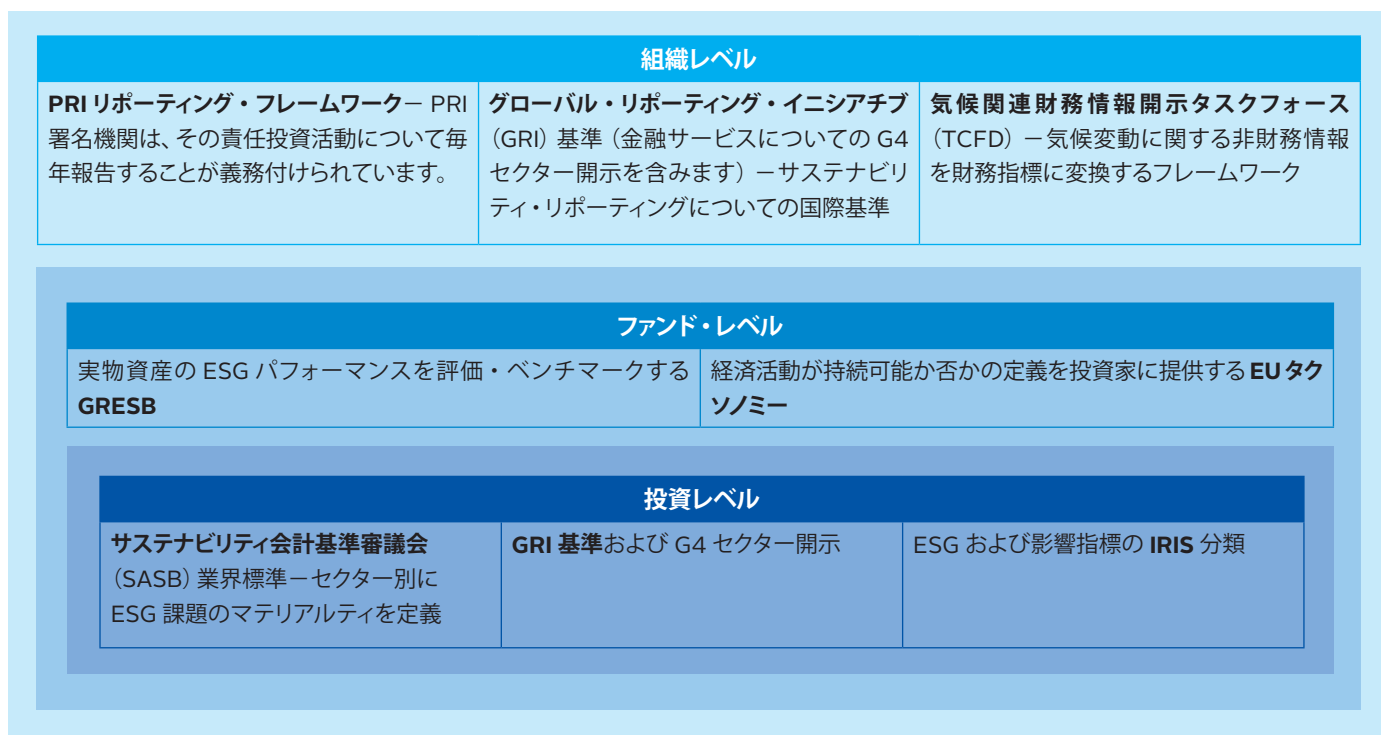


## モニタリングおよびリポーティング

進捗状況のモニタリングおよびステークホルダーへのリポーティングは、組織、ファンド、投資レベルの様々な仕組みを通して実行することができます。リポーティングは、顧客、受託者、従業員、規制当

局、市民社会、メディアなど、相手に合わせた調整を求められる場合があります。

### 責任投資活動を報告するツールの例



## レビュー

成功事例を測定し、それが組織の投資信条を引き続き反映しているかを判断するために、方針は定期的にレビューされなければなりません。例えば、組み込むことができる新たな責任投資のアプローチがあるかもしれませんし、方針がまだカバーしていない新たな資産クラスに組織が投資を拡大したかもしれません。目標が達成されなかった場合、何がうまくいかなかったか、またそれはなぜかを評価し、将来の成功を確実にする措置を導入することが重要です。PRI 署名機関は、[PRI リポーティング](#)を通してその責任投資の進捗状況の評価 (同業他社のパフォーマンスとのベンチマーキングを含みます) することができます。

責任投資へのコミットメントを高めようとしている組織について、PRI リーダーズ・グループ (PRI Leaders' Group) は、責任投資の投資家の最新事例を提供し、パフォーマンスの改善や、その優れた実践の例を共有することを促します。リーダーズ・グループは特定のテーマに関する先進的な取り組みを表彰しますが、PRI アワード (PRI Award) はいくつかの分野での優れたプロジェクトを表彰するものです。

### PRI リソース :



### 参考文献

責任投資の方針、ストラクチャーおよびプロセスに関する他の機関のリソースについては、[PRI ウェブサイトを閲覧ください](#)。

## クレジット

### 主要執筆者

- Jake Goodman
- Toby Belsom

### 編集者

- Eliane Chavagnon
- Mark Kolmar

### デザイン

- Ana Plasencia